



大阪ガス

ガス 赤外線ストーブ

取扱説明書

43-415・416・417型

保証書付

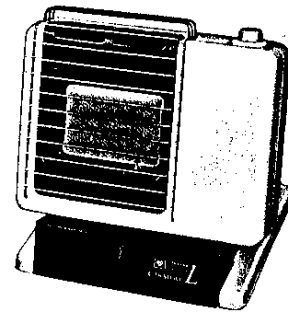
型式 PG-170C-5

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

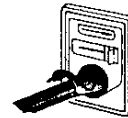
本社ガスビルサービスセンター	〒541 大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪06(202)2221
南支社	〒557 大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪06(852)0001
北支社	〒532 大阪市淀川区十三本町3丁目8番35号	☎大阪06(301)1251
堺支社	〒590 堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎堺0722(38)1131
北摂支社	〒569 高槻市藤の里町3丁目9番6号	☎高槻0726(71)0361
阪神支社	〒662 西宮市和上町4番11号	☎西宮0798(26)3101
東部支社	〒578 泉大田市福築2丁目3番17号	☎河内0729(62)1131
京阪支社	〒573 枚方市西田宮町1番17号	☎枚方0720(41)1251
神戸支社	〒650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸078(576)5231
京都支社	〒604 京都市中京区烏丸通御池角	☎京都075(231)8151
奈良支社	〒631 奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良0742(44)1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1丁目1番1号	☎和歌山0734(31)2481
姫路支社	〒670 姫路市神屋町4丁目8	☎姫路0792(85)2221
東播支社	〒675 加古川市加古川町築津29-1	☎加古川0794(21)1801
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡07962(3)2221
湖南支社	〒525 堺市湊分町字飛瀬680-1	☎堺0775(62)5311
彦根支社	〒522 彦根市大東町12番11号	☎彦根0749(22)3131
(長浜営業所)	〒526 長浜市南浜町3番4号	☎長浜0749(62)7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

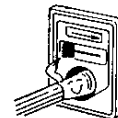
大阪ガス株式会社



ガス器具をお使いになるときのご注意



ガスゴム管もときどき点検をよいゴム管をガッチリと



ガス器具をお使いいになったあとは必ずお部屋の元せんも閉める習慣を



換気必須
30分に1回
1分間程度



ガス器具はガスの種類にあった正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス赤外線ストーブをお
求めいただきありがとうございました。

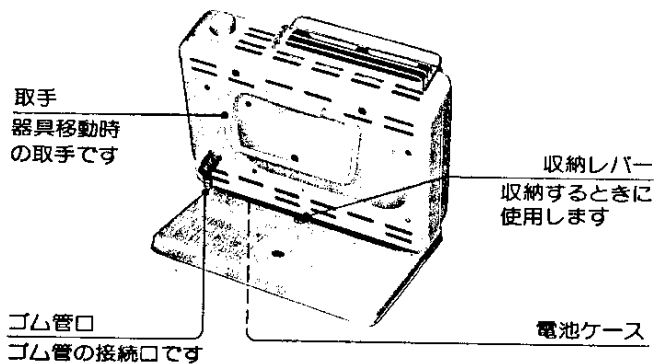
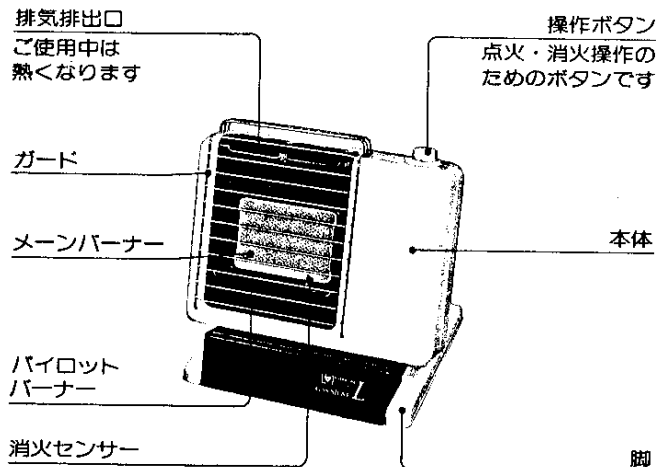
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に
保存してください。

も く じ

- 各部の名称.....2
- 特に注意していただきたいこと.....3
- 器具の設置.....9
- 使用手順.....12
- 使用時のご注意.....14
- 日常の点検・お手入れ.....14
- 故障・異常の見分け方と処置方法.....16
- 長期間使用しない場合.....17
- アフターサービスのお申し込み.....18
- 寸法図.....19
- 仕様一覧.....20
- 特長.....21

各部の名称

この器具は、電池式連続放電点火方式を採用していますので、乾電池が必ず
必要です。くわしくは9ページ「乾電池の取付け」をご覧ください。



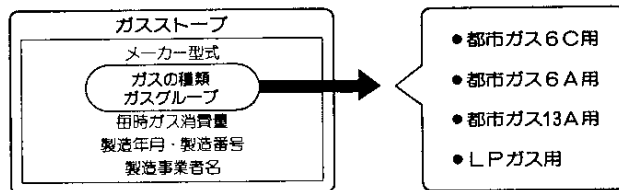
特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
ガス器具本体の背面左側にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているか確かめてください。

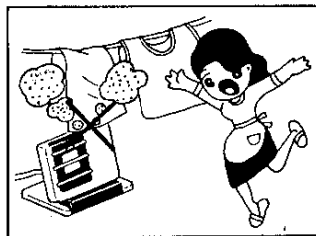
(銘板)



- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 転居されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

用途についてのご注意

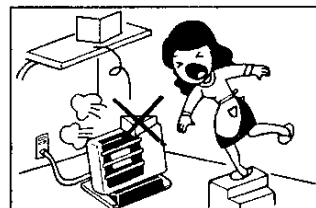
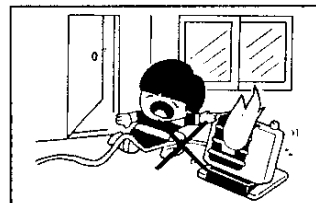
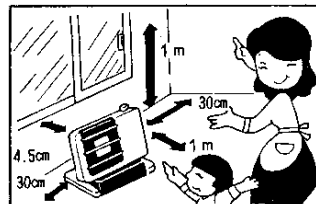
- 暖房以外の用途（洗たく物の乾燥など）には使用しないでください。



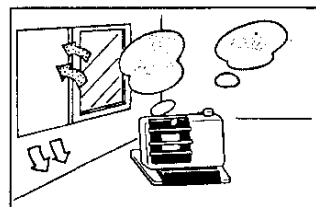
特に注意していただきたいこと②

使用場所についてのご注意

- 家具、壁、カーテンなど燃えやすいものや、引火性のものからは、じゅうぶんに離してください。
後の壁から4.5cm、横の壁から30cm、前方および上方1m以内に家具、建具などのない安全な正しい位置を選んでください。
- 部屋の出入口など人の通るところや強い風の吹き込むところでは使用しないでください。
風で吹き消されたり、やけどや転倒の危険があります。
- たなの下など落下物の危険のあるところでは使用しないでください。



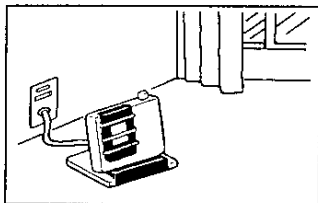
- 換気（給気・排気）が、じゅうぶんできるところに設置するか、換気できるようにして使用してください。



特に注意していただきたいこと③

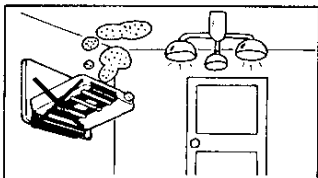
- 器具の設置はお部屋の元せん近くをお選びください。

ゴム管を長くすると、あやまってふんだりひっかけたりして、ストーブをひっくりかえすおそれがありますので、できるだけ、お部屋の元せんの近くに設置してください。



- 器具の設置は床置き以外では使用しないでください。

器具を壁に掛けたりしてご使用になると器具が損傷するばかりでなく火災の原因となり危険です。



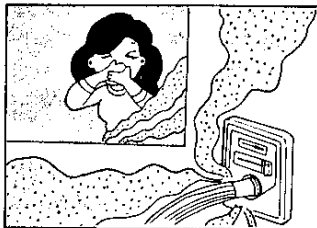
使用上のご注意

ガス漏れ予防

- ゴム管は良質のものを用い、時々とりかえてください。

(ゴム管のおとりかえの目安は約3年です)

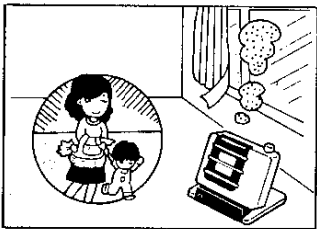
ゴム管が古くなりますと、お部屋の元せんや器具せんから抜けやすくなったり、ヒビ割れして、ガス漏れの原因になり危険です。



- ゴム管は、ガス用ゴム管を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。

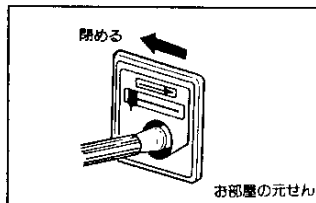
ビニール管は弾力性がなく、熱にも強くありません。

- ストーブをご使用中は決して外出しないでください。



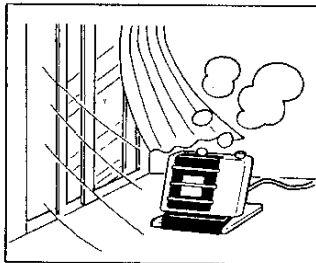
特に注意していただきたいこと④

- 器具をご使用にならないときや、外出前またおやすみ前には、万一の事故がないように、必ずお部屋の元せんをしめてください。

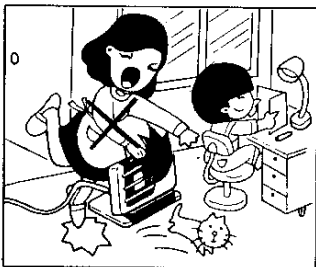


火災予防

- 器具の上やそばに燃えやすいもの(紙、カーテン、家具、揮発油など)を絶対においたり近づけたりしないようにしてください。



- 使用中は、火をつけたまま器具を移動させないでください。
火災や、やけどのおそれがあり危険です。



- 器具の中へ物を入れないでください。

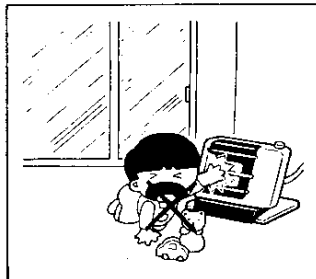
器具の中へ物を入れますと、思わぬ事故のもとになります。物を入れないよう、入らないように注意してください。

万一物が入った場合はすぐに器具の外へ出すようにしてください。

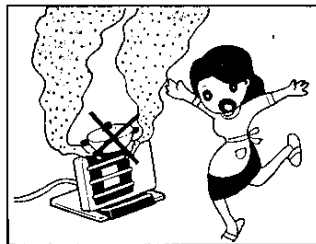
特に注意していただきたいこと⑥

やけどの注意

- ご使用中およびご使用直後は、器具本体と排気出口部、放熱部とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。
特に小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。



- 器具の上には、なべやかんなどをのせないでください。
お湯がこぼれて火が消えたり、やけどをしたりするおそれがあり危険です。
- 消火後すぐに、脚を収納しますと、脚が熱くなりますので、約5分放置した後、脚を収納してください。



換気のご注意

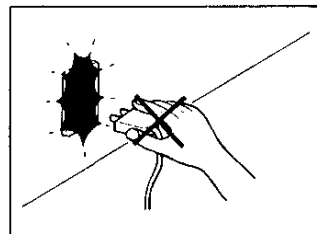
- ストーブを使用中は30分に1回1分間程度換気扇を回すか、窓を開けるなどしてじゅうぶんな換気をおこなってください。
しめぎった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。



特に注意していただきたいこと⑦

ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてお部屋の元せんと閉じ、窓や戸を全部あけて、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社に連絡してください。



〈ご注意〉

万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具にふれたりしないでください。
スイッチの「入」・「切」や電源プラグの抜き差しなどの火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのまま使いにならず、直ちにご使用を中止（器具せん、お部屋の元せん閉止）してじゅうぶんな点検をお願いします。
（故障・異常の見分け方と処置方法については16ページをお読みください。）

日常の点検・手入れ

- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検・手入れは必ず行なってください。
（点検・手入れの方法については14・15ページをお読みください。）
- 故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。不完全な修理は危険です。
万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社に連絡してください。

器具の設置

設置前の準備と確認

梱包材料の除去

- ゴム管口のキャップを取りはずしてください。
ゴム管口には輸送、保管時におけるゴミ混入防止のためキャップがついています。取りはずしてご使用ください。
また、シーズンオフなど長期間ご使用にならない時に収納される場合は、ゴム管口にキャップをつけて収納してください。

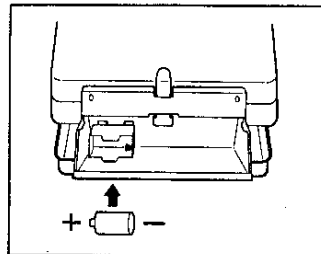
使用ガスの確認

- 器具銘板の表示ガス（ガスグループ）とご使用になるガスとが一致しているかご確認ください。

設置上のご注意

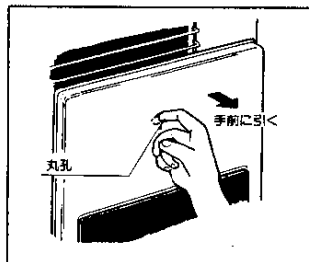
乾電池の取付け

- 電池ケースは器体底面にあります。
背面から見て⊕が左になるように正しくはめ込んでください。
〈単1 1.5V 1個〉
操作ボタンを押して“パチパチ”とスパークの音が出ることを確認してください。

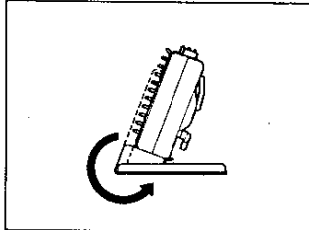


器具の設置②

脚の設置



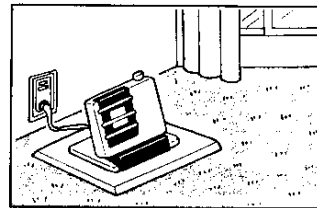
- ① 脚上部の丸孔に指を入れて、手前に引いてください。
ロックが解除されます。



- ② 脚を背面へ止まるまで回してください。
自動的にロックされます。
必ずロックされたことを確認してください。

設置状態の確認

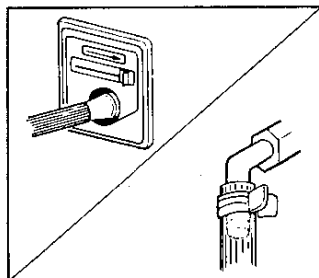
- 周囲に可燃物（木製の壁・たななど）のある場合は、じゅうぶん離れているところでご使用ください。
（詳しくは4ページ「使用場所についてのご注意」の項参照）
- 毛足の長いじゅうたんの上で使用する場合は、丈夫な不燃性の台にのせて使用してください。



器具の設置③

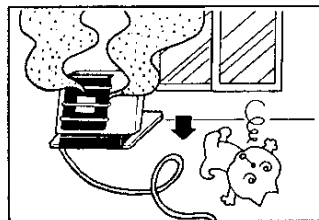
ゴム管の接続

- ゴム管は赤線まで差し込んでしっかりと止めてください。
9.5mmφ(内径9.5ミリ)のゴム管を使用し、お部屋の元せん、器具せんともゴム管口の赤線まで、じゅうぶん差し込んでゴム管止めでしっかりと止めてください。



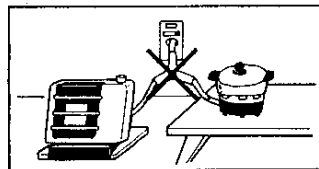
ゴム管止めでしっかりと止めていないと、知らずにはずれかかってガス漏れが生じることがあり危険です。

- ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないよう、できるだけ短かく(3m以内)、器具の下を通したり、器具に触れないようにしてご使用ください。



器具の下を通したり、器具に触れていると、ゴム管が過熱して早く傷んだりして危険です。

- ゴム管の継ぎたいしや二又分岐は行なわないでください。



ゴム管のとりかえについて

- ゴム管は良質なものを用い、時々とりかえてください。
(ゴム管のおとりかえの目安は約3年です。)
ゴム管が古くなりますと、お部屋の元せんや器具せんから抜けやすくなったりヒビ割れて、ガス漏れの原因になり危険です。

使用手順

点火前の準備と確認

器具周辺の危険物などの点検

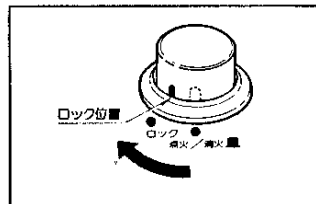
- ゴム管が器具の高温部に触れたり、危険なところに設置されていないか確認してください。

操作ボタンのロックのしかた

- 操作ボタンをロックの位置に(時計回りに45°)回すとロックすることができます。

あやまって点火してしまうことを防止するため、ロックしておくとう安全です。

ロックは「点火/消火」の位置に戻すと解除されます。



〈ご注意〉

- 「ロック」位置よりさらに時計回りに45°回すと、操作ボタンをはずすことができます。

ひどい汚れのときには、操作ボタンをはずして掃除することができます。掃除後は、点火軸にある矢印が示すくぼみに、操作ボタンの突起部をはめこみ「点火/消火」の位置に戻して点火することを確認してください。

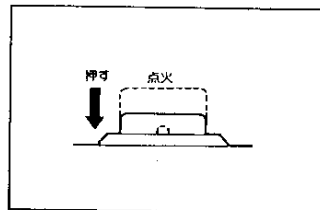
点火前の確認

- 操作ボタンが押していない(消火の位置にある)ことを確認したのち、お部屋の元せんを全開にしてください。
- お部屋の元せんを開く際には、誤って器具が接続されていない元せんを開いたり、他の器具の元せんを操作したりしないよう十分注意してください。

使用手順②

点火

- ロックを解除して、操作ボタンを止まるまでいっぱい下へ押してください。
"パチパチ"と音が出てバーナーに着火します。
- バーナーに着火したことを必ず確かめてから手を離してください。



〈ご注意〉

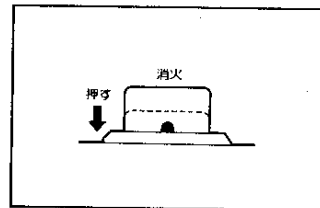
- 万一着火しない時は、操作ボタンをもう一度押して消火の位置に戻し、あらためて点火操作を行ってください。
- しばらく使わなかった時や初めて使う時には、ゴム管内に空気が入っておりますので、空気を追い出すために点火操作を3～4回繰り返してください。

空気調節

- この器具は空気調節がしてありますので、そのまま使用してください。
- ガスが正しく燃えているかどうか、ときどき確認してください。

消火

- 操作ボタンをかるく下へ押し、手を離してください。操作ボタンが消火の位置に戻り、火が消えます。



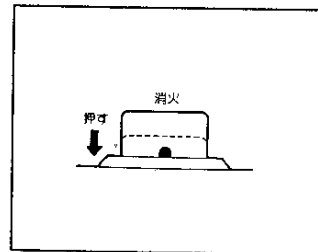
〈ご注意〉

- 必ず火が完全に消えたか確認してください。
- ご使用後は、必ずお部屋の元せんを閉じてください。

使用時のご注意

安全装置が作動したときの処置方法

- ご使用中、バーナーが消火してしまったときは、すぐに操作ボタンを押して消火の位置に戻し、お部屋の元せんを閉じ、16ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」および、次の方法により処置してください。
- 消火センサー（熱電対式）
- バーナーの炎が消えたときには、消火センサーが働いて自動的にガスが止まりますが、完全に止まるまで少し時間がかかります。バーナーの消火に気づいたときはすぐ操作ボタンを押して消火の位置に戻してください。
- 再点火されるときは、周囲にガスの臭いがなくなるまでしばらく待つてから「使用手順」に従って点火してください。



日常の点検・お手入れ

点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れについては、下記の日常の点検以外はお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社に依頼してください。
- 点検で異常が見つけれられたときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社に修理を依頼してください。
- 点検・手入れの前には必ずお部屋の元せんを閉じ、器具がじゅうぶん冷えてから行なってください。
- 器具内部の部品（ガス通路など）は絶対に分解しないでください。



点検

安全にお使いいただくためにときどき点検してください。

- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具およびお部屋の元せんともゴム管口の赤線までじゅうぶん差し込み、ゴム管止めで止めてありますか。
- ゴム管が器具の高温部に触れたり、折れたり、ねじれたりしていませんか。
- ゴム管が古くなって、ひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいるためガスが漏れていないかときどき石けん水などで点検してください。
- 器具の近くに、紙、プラスチック、油類など燃えやすいものが置いてありませんか。
- ガードが正しくセットされていますか。
- 空気口にはこりがたまっていませんか。

お手入れ

- やわらかい布をぬるま湯でぬらしてよくしぼってからふいてください。

電池交換

- 乾電池は消耗品です。スパーク間隔が長くなった時は、新しい乾電池と取替えてください。詳しくは9ページの「乾電池の取付け」を参照してください。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止してじゅうぶんな点検をお願いします。

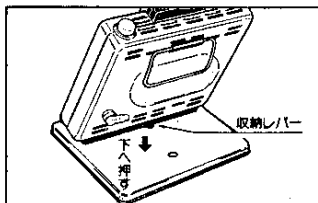
原因	点火しない・点火が弱い	操作ボタンより手を離すと消火する	ガスがき	着火・火移のしにくい	爆発的に着火する	使用中に消火しやすい	バーナーが十分赤熱しない	処置方法	参照ページ
お部屋の元せんの開け忘れ	○							操作ボタンをいったん「消火」の位置に戻してからお部屋の元せんを全開にする	12
お部屋の元せんの開き不じゅうぶん	○	○		○	○		○	ガスが正常に出るまで点火操作を繰り返す	13
ゴム管内に空気が残っている	○			○				他の器具も同様の場合は点検を依頼する	—
ガス圧が適切でない	○			○	○		○		—
ゴム管の折曲り・つぶれ	○	○		○			○	ゴム管をなおす	11
ゴム管のお部屋の元せんへの差し込み不足	○	○	○	○			○	ゴム管をじゅうぶん差し込む	11
ゴム管の差し込み部分の劣化・軟化	○	○	○	○			○	ゴム管を交換・先を切りつめる	11
消火センサーが作動		○					○		
点火装置の故障	○							点検・修理を依頼する	—
炎検出部の汚れ		○					○		
乾電池の消耗	○	○						乾電池を取替える	15

処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

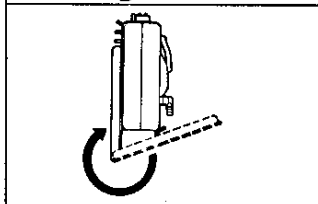
長期間使用しない場合

15ページの「お手入れ」に従ってお手入れし、ガス通路にほこりが入らないようゴム管口にキャップをつけてビニールカバーをかぶせ、ダンボール箱に入れて湿気やほこりの少ないところへ保管してください。

収納方法



①器具背面下部の収納レバーを、下へ押しながら器具を持ち上げてください。



②脚を前面へ止まるまで回してください。
“パチン”と音がして自動的にロックされます。

③購入時のダンボール箱に入れて湿気やほこりの少ないところへ保管してください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 16ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理をなさらないで買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。なおご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- (1) 品 名……………(ガス赤外線ストーブ)
- (2) 品 番……………背面左側に貼付してあります。

(例)

(N)43-415(U)

大阪ガス株式会社 [04]

- (3) 現 象……………(できるだけ詳しく)
- (4) 道 順……………(できるだけ詳しく)

転居される場合

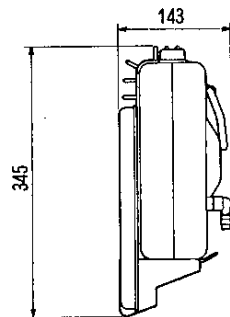
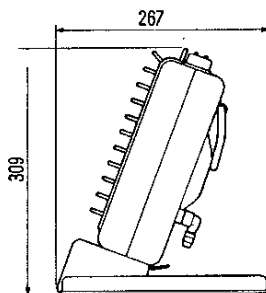
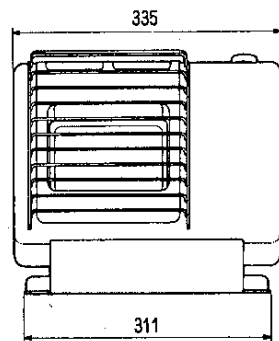
- ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります。
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社にご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

- この器具には保証書がついています。
このガスストーブは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

寸法図

寸法図



仕様一覧

仕様一覧表

品名	43-415, 416, 417		
種類	設置の形態	すえ置式	
	給排気方式	開放式	
	放熱方式	放射式	
外形寸法	高さ	309mm	
	幅	335mm	
	奥行	267mm	
	収納時の高さ	345mm	
	収納時の奥行	143mm	
重量	4.1kg		
接続	9.5mmφ ガス用ゴム管		
点火方式	連続放電点火方式		
暖房の目やす	4.5畳～6畳		
安全装置	消火センサー		
使用ガスグループ	1時間当たりのガス消費量		
ガス消費量	都市ガス用	6 A	1650kcal/h
		6 C	1650kcal/h
		13 A	1650kcal/h
	L P ガス用	0.13kg/h	

特 長

- 1** 器具本体の厚さは、85mmと超薄型コンパクト設計で、シンプルですっきりしたデザインです。
- 2** 持ち運び用の取手付きです。
- 3** 消火センサー付きですので、万一バーナーの火が消えても生ガスの放出を最少限におさえます。
- 4** 電池式連続放電点火式の採用及びプッシュボタン式点火の採用により、点火操作がソフトな感覚となりました。また、点火も1回の操作で確実な点火が得られます。
- 5** 操作ボタンは45°回すと点火できなくなるチャイルドプルーフ機能付きです。
- 6** クイックセンサー方式採用により、瞬時に点火ができます。
- 7** バーナーは放射効率の高いセラミックプレートを使用しています。
- 8** 脚が折りたたみ、収納寸法が非常に小さくなります。

おねがい

ガスくさいときは、お部屋の元せいを閉じ、窓を全開にしてから
(火気に注意して)、大阪ガス支社にご連絡ください。